



包括支援センターだより

【問合せ先】桂川町地域包括支援センター（桂川町総合福祉センター内） ☎65・4401



■日頃から優しい見守りと声かけを ～認知症声かけ隊養成実践訓練～

平成30年9月16日(日)、認知症で1人歩きをされる方への声かけ訓練を豆田・笹尾・平山の3地区で行いました。認知症の方が行方不明になったり、事故に巻き込まれたりするのを防ごうと昨年度から実施しているものです。

道で出会った地域の方が、認知症役に「こんにちは どこにお出かけですか」など笑顔で話しかけ、その後は、町地域包括支援センターへ電話し、発見場所やけがの有無、氏名等を伝えました。

3地区で47名の方が実際に声かけを体験され、「声をかけるまでに勇気がいった」「心配な方がおられたら、積極的に声をかけてみよう」と話されました。

引き続き、認知症声かけ訓練等の認知症施策に取り組みます。



▲認知症声かけ隊養成訓練に参加した方々。



■認知症について学びましょう

「自分が認知症かもしれない」という不安は、とても大きなものがあります

認知症は、脳の細胞の働きが失われたり、悪くなったりすることで、考えるスピードが遅くなったり、もの忘れがでてくる病気です。場所の間隔が薄れたり、さっきまで覚えていたことがすっぱり頭から抜けてしまうことがあります。不安で、心細く、苦しんでいるのは、ご本人です。「私は物忘れなどない」「認知症なわけがない」という態度や言動には、やり場のない怒りや不安が込められています。

認知症は早期の発見が大切です

認知症は、早期に発見することで、進行を遅らせることができ、その人らしい充実した暮らしを長く続けることができます。また、症状が軽いうちに、ご本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりと「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

認知症が疑われる時はすぐにご相談ください

「認知症かもしれない」というサインに気づいた時には、かかりつけの病院の先生や福岡県認知症医療センター（飯塚記念病院内 ☎代表 22-2316）、桂川町地域包括支援センターにご相談ください。

